

西部支部 岐阜巡検報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-07-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森, 伸一 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00025426

西部支部 岐阜巡検報告

森 伸 一*

地学会西部支部では平成 2 年 1 月 13、14 日と一泊で岐阜方面の巡検を実施した。13 日午後 2 時ごろマイカーで浜松を出発し 4 時ごろ最初の目的地、鶯沼に着いた。犬山城の真下を流れる木曾川の河岸（城より北東約 1 km の右岸、紡績工場裏手）に放散虫化石を含むチャートが分布している。参考文献を読みながら河原を歩き、放散虫化石を含むと思われるチャートを採集した（文献によるとここはチャートだけでなくチャートに泥がまじった珪質けつ岩、砂泥互層などもみられ、時間をかけていないにみないと放散虫化石採集はたいへんのようなのだ）。

岐阜市内で一泊し翌 14 日午前 1891 年に発生した濃尾地震で生じた根尾谷断層を見学した。写真 1 で人がたっている下（崖のような線）が断層である。この近くには公園がつくられ、地震の説明文やパネルも展示されている。またこの地点から北へ 2 km ほど行くと国指定天然記念物の淡墨ザクラがあるが、この手前の赤い橋から北東方向、根尾東谷川を 2 km ほどのぼると中地区の集落につく。ここでは有名な横ずれ断層をみる事ができる（道路から下の畑をみると畑にある畦筋や小道が断層をさかいに左右にずれている）。



写真 1 根尾谷^{ミドリ}水鳥断層にて

断層見学の後は大垣市に向かい赤坂金生山の石灰岩を採集した。参加者は車からおりて山道を少しのぼり石灰岩の大露頭（採石場）に行きフズリナを含む石灰岩をさがした。しかしなかなかフズリナが見つからず、別の場所に行こうかと車に戻ったところ、車のすぐそばで大きなフズリナのはいった石灰岩がいくつもみつきり感激した。その後昼食をとり、金生山の一角にある金生山化石館（赤坂石灰岩から産出したフズリナ化石をはじめ巻貝、サンゴなどの化石標本が展示されている。入場料大人 200 円、毎週火曜日休館）を見学して巡検を終えた。

今回の巡検参加者は予定では 7 人だったが直前 2 名が取り消し 5 人（車 1 台）になった。（参加者名、加藤和男・清水睦美・桐林義一・山本和彦・森伸一）西部支部の全会員に連絡したわりには参加者が少ないという感じだが、最近地学会に入会したという桐林、山本両会員の参加はフレッシュな息吹きを感じさせてくれた。

参考文献：梶田澄雄編著「日曜の地学 11、岐阜の地質をめぐって」（1980）築地書館

* 県立袋井高等学校